

みんなで話し合った結果、カエルを逃がしてあげることになりました。
逃がす場所も、みんなで話し合い決めて水もあり、食べる虫も居る 田んぼに逃がしてあげることになりました。

仲間の居るところがいいんじゃない？
僕、田んぼや畑にカエルが居るの見たよ。

どこがいいかな？

カエルさんここならいいね。
ほら、早く出てきて。
元気だね。



どこに逃がしてあげたらいいかな？

あー！
水が流れる。



逃がしたくないと言っていたくんでしたが、最後はくん自らカエルを逃がしてくれました。
育ちるのが寂しいのか、みんなよりも長い時間カエルのそばに居て、カエルの様子を気にして見ていました。

○生物が大好きな子どもたちで、カエルの卵の成長をそばで見えたから、大切にしようとする気持ちが大きくなり、カエルにとって何が一番大切かを子どもたちを話し合い考えることができたのではないかと思う。

○友だちの意見を聞きながら、自分の思っている事も自分の言葉で話す姿が多くの子どもたちから見られた。

